

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	I - 6	「身体拘束ゼロ」を目指し、常に職員が意識した行動をする	・利用者の行動を制限する事はしない ・スピーチロックに対し、職員が互いに注意し合える関係を築く	・身体拘束についての勉強会を継続する ・センサーマット使用者に対し、モニタリング評価を行い、継続使用の必要可否を明らかにする ・工夫によりセンサーマットを使用しない方法を検討する	12ヶ月
2	I - 2	地域との交流を増やし、より多くの方々との交流を楽しめるようにしたい	今まで行って来た関わりを継続しながら、新しい交流を持つ機会も増やす	・荒島小学校、安来三中に雑巾各50枚寄贈 ・交通安全マスコットを運転者会を通じて配布 ・荒島婦人会との交流(避難訓練・夏祭り・クッキング) ・自治会の会議に参加する	12ヶ月
3	Ⅲ - 33	「看取り」に対し職員間で話し合い、受け入れる準備をする	利用者家族に対し、終末期の在り方について意思確認し、ソレイユグループホームあらしまでできる事を説明する	・看取り研修会に参加する→職員に伝達 ・利用者家族と面談し、終末期の迎え方について意思確認する(書面に残す) ・利用者家族の意思を元に主治医と話し合う機会を持つ ・職員の不安を解消する為のシュミレーション	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。